

# 柏高探究コースで ようこそ西村先輩

ドラえもんや特製傘も登場し

県立柏崎高校(白井民夫校長、751人)で23日、同校出身の金沢工業大学工学部・西村泰雄助教を迎え、自然探究コース2年生を対象にした「科学史講義」が行われた。

柏崎高校では昨年からは内初のコース制が設置され、人文探究、自然探究の両コースで162人が学んでいる。



〒945-0066 柏崎市西本町1-8-17  
 (株) 柏新時報社  
 電話(0257)22-2232  
 FAX(0257)24-3613  
 振替口座00660-0-443番  
 1部175円 1か月700円

編集兼発行人 岡島利親  
 印刷人 小田茂明



特に力を入れているのが、夏季集中講義の「探究特論」で、1年生はブリティッシュユビルズ(福島県天栄村)での国際理解校外研修やコ

ンピューター実習、新潟産業大学・内田学長の講演など、また2年生は新潟産業大学公開講座への参加や長岡技術科学大学での実験講座な

ど多彩なプログラムを展開しており、この一環として西村助教が里帰り講義を行ったものだ。

科学史、科学教育学が専門の西村助教(高28回卒)はさっそく後輩たちに「脳みそのなかでも、あまり使ったことのない部分のトレーニングをします。テストには出ませんので楽しくやりましょう」と親しく語りかけながら、「科学の歴史って何?」「高校の教科書っていつも正しい?」「ドラえもんのタイムマシンに乗ってみよう」などのテーマで講義を行い、生徒たちも好奇心に満ちた表情を見せた。

また、星空の描いてある特製の傘や椅子を使って天動説、地動説についてふれた西村助教は、「君たちが、中学生の家庭教師のアルバイトをしているとする。相手は聡明で、天動説の考え方を変えない中学生。君たちの使命はその子を何とか説得して地動説が正しいこ

とを分からせること。ただし、目に見えるものを通して改心させなさい」との問題を出し、クラス全員に答えを発表させ、生徒たちも柔軟な思考力でこれにこたえていた。

西村助教は「独創的な意見が続出して後輩たちからパワーを分けてもらった、自分にとっても貴重な経験となりました」と話していた。講義の感想については、助教のホームページ

http://www.page.sanet.ne.jp/h.nishi/でも公開中。探究特論は、29日に各学年各コースでまとめの発表などを行い、夏休みの集中講義をしめくくった。探究コース1年生のレポート発表会は、柏崎刈羽の中学生に公開され、関心を高めていた。